

2019 年度 事務事業評価(2018年度実施事業事後評価)シート / 2020 年度 実施計画調書 (新規 拡充 縮小 休止・廃止 現状維持)

1 事務事業の基本情報										整理番号	053													
事務事業名 農業振興事業費(振興係分)										補助区分	<input type="checkbox"/> 国補 <input checked="" type="checkbox"/> 県補 <input checked="" type="checkbox"/> 市単	終期	<input type="checkbox"/> 決まっている (年度まで) <input checked="" type="checkbox"/> 決っていない	予算科目	区分	一般会計	款	06	項	01	目	03	事業	01
担当部		経済環境部		担当課		農政課		担当係		振興		係												
位置付けられている計画等										<input checked="" type="checkbox"/> じょうそう未来創生プラン前期基本計画 <input checked="" type="checkbox"/> 市長マニフェスト「常総創生への道しるべ」 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市復興計画 <input checked="" type="checkbox"/> 常総市まち・ひと・しごと創生総合戦略		<input type="checkbox"/> 市民等からの要望 <input type="checkbox"/> その他の計画 (名称:)		根拠法令及び市条例等 <input type="checkbox"/> 国の定める法律 (名称:) <input type="checkbox"/> 国・県からの通達等 (名称:) <input checked="" type="checkbox"/> 市の条例・要綱・規則 (名称: 常総市補助金交付規則, 常総市農業振興補助金交付要綱)										

2 事務事業の目的										当該事業を実施することで、①「望ましい状態」とはどのような状態か? → ②一方で、「現状や課題」はどのようなか? → ③そのためには何をすべきか? という過程で考えていただいても結構です。									
現状課題					農産物価格の低迷及び経営コストの上昇による経営環境の不安定化や、少子高齢化の進行による国内需要の先細りが見込まれるなど、農業をめぐる情勢は近年劇的に変化している。					誰・何を対象に 農協、認定農業者、農業者等の組織する団体					望ましい状態 補助事業を活用して収益性の高いモデル的な担い手農家をより多く育成し、他の担い手農家に横展開させることで、儲かる農業を実現していく。				
どのような方法・手順で ・農業者や農業関係者が主体となって展開する創意工夫ある新たな取り組みを支援する。 ・ブランド化や輸出などの新たな取り組みや、ICTや高性能機械など低コストで高品質な農作物が生産できる仕組みの導入を支援する。																			

3 事務事業の主たる成果指標										数値目標(定量)の設定が困難な場合は、文言目標(定性)でも結構です。なお、指標名・目標値とも設定が困難な事業は空欄でも結構ですが、この場合、設定できない理由を分かりやすく具体的に記入してください。										
指標名		優良事例への補助件数		単位	件	目標値	5	目標年次	毎	年度	指標及び目標値設定の考え方(又は指標・目標値を設定できない場合の理由)		市内農業者の優れた取り組みに対する助成件数を増やす							

4 事務事業の実績 ㉑										当該事業の予算を使って、『どのような業務をどの程度実施したか。』を記入してください。なお、業務が12個以上ある場合、代表的なものを最大12個記入してください。											
年度	2016年度					2017年度					2018年度										
	業務名					業務名					業務名										
	①	いばらきの園芸産地改革支援事業 3,283,000				1件	①	いばらきの園芸産地改革支援事業 3,194,000				1件	①	儲かる産地支援事業 1,820,000				1件			
	②	がんばる農家応援事業 1,581,000				4件	②	がんばる農家応援事業 1,308,000				4件	②	がんばる農家応援事業 288,000				2件			
	③						③						③	常総市農業ヘルパー事業							
	④						④						④								
	⑤						⑤						⑤								
	⑥						⑥						⑥								
	⑦						⑦						⑦								
	⑧						⑧						⑧								
	⑨						⑨						⑨								
	⑩						⑩						⑩								
	⑪						⑪						⑪								
⑫						⑫						⑫									
目標値に対する実績値					5	件	目標値に対する実績値					5	件	目標値に対する実績値					3	件	
決算額	計	4,864,000 円		内訳	特定財源	3,283,000 円		計	4,502,000 円		内訳	特定財源	3,194,000 円		計	2,108,000 円		内訳	特定財源	1,820,000 円	
					一般財源	1,581,000 円						一般財源	1,308,000 円						一般財源	288,000 円	
		(住民一人あたりの行政コスト)			80 円	(住民一人あたりの行政コスト)			74 円		(住民一人あたりの行政コスト)			35 円							

5 担当者評価 ㉒										実施したことによる成果や問題点を記入してください。									
成果	ほぼ目標どおり	・いばらきの園芸産地改革支援事業 常総ひかり農業協同組合の園芸部会に対し3年間で5台のコスト低減や作業省力化のための高性能機械等の導入費の1/3を助成した。 ・がんばる農家応援事業 3年間で10件の認定農業者等に対し新たな取組に係る費用の1/2を助成した。																	
	問題点	平成30年度については、申請取下げや計画より実績が伴わないケースがあり、目標件数に達しなかった。																	

6 担当部長及び担当課長評価 ㉓										担当部長・課長で協議のうえ、評価してください。									
事務事業の方向性										<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由										少子高齢化の進行による国内需要の先細りが見込まれるなど、農業をめぐる情勢は近年劇的に変化している中で、市としてもインターチェンジ周辺開発事業のアグリサイエンス構想に基づき、農業の活性化を図っていくうえで様々な施策を展開し推進した。引き続き継続して事業推進に当たっていく。									

7 実施計画 ㉔										今後3年間の事業内容について、どのようなことをどの程度実施していくつもりなのか、具体的に記入してください。なお、予算額の「歳出の計」と「歳入の計」は一致させてください。									
年度	2019年度					2020年度					2021年度								
	・儲かる産地支援事業 5,333千円 ・常総市農業ヘルパー事業 農業ヘルパー及び雇用希望者を登録した台帳を整備し、相互に閲覧し直接契約を結べる仕組みを作り、農業者の労働力不足を補い、雇用機会の拡大、市内外の住民の交流を推進していく。 ・常総市アグリオーナー制度 市が市内の農産物生産者を募集登録。HP等で市内外に情報発信し、登録事業者を広く紹介する。消費者が生産者に申し込みを行い、農作物を受け取る仕組み。収穫作業等の体験や生産過程を消費者が楽しみ、農作物生産者の所得安定と交流人口拡大を図る。					・儲かる産地支援事業 5,333千円 ・常総市農業ヘルパー事業 農業ヘルパー及び雇用希望者を登録した台帳を整備し、相互に閲覧し直接契約を結べる仕組みを作り、農業者の労働力不足を補い、雇用機会の拡大、市内外の住民の交流を推進していく。 ・常総市アグリオーナー制度 市が市内の農産物生産者を募集登録。HP等で市内外に情報発信し、登録事業者を広く紹介する。消費者が生産者に申し込みを行い、農作物を受け取る仕組み。収穫作業等の体験や生産過程を消費者が楽しみ、農作物生産者の所得安定と交流人口拡大を図る。					・儲かる産地支援事業 5,333千円 ・常総市農業ヘルパー事業 農業ヘルパー及び雇用希望者を登録した台帳を整備し、相互に閲覧し直接契約を結べる仕組みを作り、農業者の労働力不足を補い、雇用機会の拡大、市内外の住民の交流を推進していく。 ・常総市アグリオーナー制度 市が市内の農産物生産者を募集登録。HP等で市内外に情報発信し、登録事業者を広く紹介する。消費者が生産者に申し込みを行い、農作物を受け取る仕組み。収穫作業等の体験や生産過程を消費者が楽しみ、農作物生産者の所得安定と交流人口拡大を図る。								
	・市民農園 常総IC周辺に新たな市民農園を開設し、立地条件を活かし都市部との交流を促し、地域農業の活性化と農地の利活用を図る。					・道の駅への出荷体制等の支援 道の駅の持つ「むすぶ・つなぐ・場をつくる」機能を活かして、地元生産者の出荷体制等の支援をし、所得増大、生産意欲向上につなげる。													
成果指標	指標名	登録者数	単位	人	目標値	10	指標名	マッチング件数	単位	組	目標値	5	指標名	マッチング件数	単位	組	目標値	5	
	予算額	歳出	計		5,333 千円		歳出	計		5,333 千円		歳出	計		5,333 千円				
		歳入	特定財源		5,333 千円		歳入	特定財源		5,333 千円		歳入	特定財源		5,333 千円				
		一般財源		0 千円			一般財源		0 千円			一般財源		0 千円					
		計		5,333 千円			計		5,333 千円			計		5,333 千円					

8 財務アドバイザーの見解									
『常総市財政健全化計画』では、2017～2019年度までの3年間で約20億円の財源不足が生じる可能性が指摘されている。この厳しい財政状況を鑑み、本事務事業は2020年度の当初予算の要求において、可能な限り市の一般財源を用いない予算要求を行い、市民目線の筋肉質な事務事業の計画と実行を期待する。									

9 行政改革懇談会(市民)の意見									
担当部長及び担当課長評価のとおりでよい。農業を巡る情報変化を的確に捉え、農業活性化に向け引き続き様々な施策を展開して欲しい。アグリサイエンスバレー構想や道の駅整備事業と合わせ、一体的に農業の生産性向上を目指すことを期待する。									

10 最終評価(行政改革推進本部) ㉕																			
事務事業の方向性										<input checked="" type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 現行どおり <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 休止・廃止									
評価理由										農業経営安定のためには、「儲かる農業」を目指す上での重要な施策の一つである。本年作成した「農業基本計画」を基に、来年度に向けた新規事業を今年度中に立案し、経営の強化・安定を目指し、農業の活性化を図るべきである。									

11 事務事業の改善理由及び改善部分 ㉖										実施計画のみ作成する場合の拡充・縮小・休止・廃止部分もこの欄に記入してください。									
事業内容																			